



自然の中で研修

継続は力

2年ほど前、岐阜県の白川村を訪れたことがある。世界文化遺産に指定された合掌造り民家のある集落は、観光客やカメラマンで大層のにぎわいを見せていた。

合掌造りの建物は、組み合わせに釘やかすがいなどを一切使わず、ネソ（マンサク）の若木や、わら縄で締めくくる。切り妻の屋根は茅で葺いてあり、降った雪がすべり落ち易いように60度近い急勾配で造られている。

驚いたことに、寺院まで合掌造りであった。明善寺というお寺の、5階建てになっている合掌造りの庫裏を見学させてもらった。中に入ったとたん、煙が目にしみたので、明善寺の坊さんに「いやに煙いですね」と言うと、副住職であるその坊さんは次のような説明をしてくれた。

「煙い理由は、毎日いろりで薪を燃して、茅葺きの屋根をいぶしているからです。これをしないと、茅葺きの屋根はせいぜい30年くらいしか持ちません。ところが、毎日こうやっていぶしてやると倍の60年くらい

所長 小宮山 修



は持ちます。」

たき火の煙は、茅葺き屋根の防虫や防腐にたいへん効果があるのだという。飛騨の山里において、茅葺き屋根を少しでも長く持たせようという願いから、来る日も来る日も薪を燃して屋根をいぶすという営みを続けていることに感動を覚えた。同時に、継続は力であることを実感した。

考えてみれば研修（研究と修養）も、茅葺き屋根をいぶすのと同じである。自分を少しでも向上させようという願いを持って研究と修養を毎日続けた場合と、そうでない場合とでは結果が大きく違ってくる。

教育課題山積の今、教師の力量が問われているが、力量は一朝一夕に身に付くものではない。

研究と修養に日々努めることが力量を向上させる要諦であるという、言ってみればごく当たり前のことを飛騨の山里で改めて教えられたしだいである。

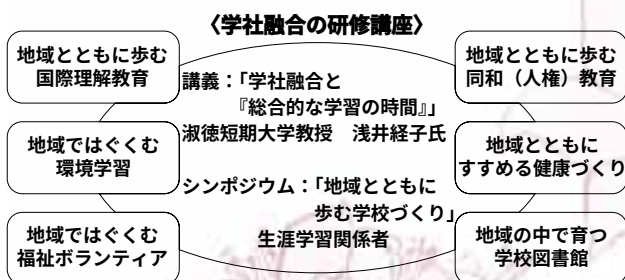
平成12年度 総合教育センターの事業から

総合教育センターは、開所5年目を迎えます。本年度も各学校や先生方の願いに応えられるセンターにしていきたいと思います。ここでは、センターの研修・研究調査・教育情報・教育相談の4事業について紹介します。教育情報については、右ページで紹介します。

研 修

多くの講座を刷新

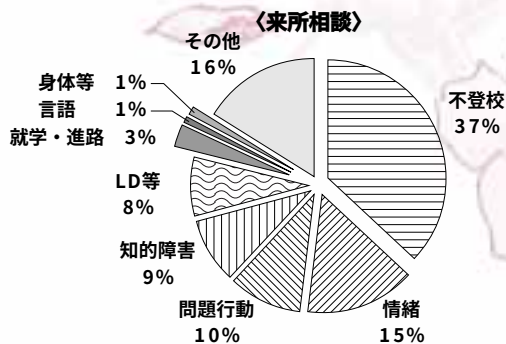
新しい教育課題の解決に向けて、55講座を刷新しました。そのひとつとして、様々な角度から「地域との連携をさらに強める学社融合」の進め方について考える講座を実施します。



教育 相 談

幼児・児童生徒・保護者（教職員）対象の教育相談

平成11年度の来所相談の件数は292件で、10年度に比べ約70件増えています。相談内容をみると、不登校に関するものが最も多く、情緒・LD等の相談も年々増加傾向にあります。また、暴力行為や非行等の問題行動に関する相談が、2倍以上に増えています。



子どもたちの健やかな成長のため、上記の内容の他に、個別相談や学級づくり・人間関係づくりなどに関する相談も受けています。お気軽にご利用ください。

来所相談 (月～金曜日)	電話で申し込み→予約→来所 0263-53-8811 (相談専用) 0263-53-8833 (生徒指導部) 0263-53-8805 (特殊教育部)
電話相談 (月～金曜日)	0263-53-8811 昼間 9:00～17:00 夜間 18:00～22:00

研究 調 査

共通テーマ：『生きる力』を育成する学校教育の在り方 －学力の向上・心の教育・情報化への対応－

次のような体制で研究調査を行います。

- プロジェクト研究
教科、各部の枠を超えた横断的な研究
- 各部の専門的な視点からとらえた研究
今日的な教育課題に対応した研究
- 教材開発研究委員会における研究
センターでの生徒実習や各学校での実習に利用できる教材の開発
- 全国の教育関係機関との連携による研究調査

教職員の学習指導等に関する相談

平成11年度は176回、241人の先生方が相談に来所されました。相談内容は、教材教具の開発・研究、教科の指導法や学級経営に関することなど多様であり、関係する部で対応しています。以下に、例を紹介します。

- ・中学校理科1年の天文分野で、昼間の金星を観測したいが、望遠鏡にとらえる方法を教えてほしい。
- ・授業の導入場面で、みんながすぐに集中できる学習活動の例を教えてほしい。

また、通信による相談も受け付けています。平成11年度は、588件でしたが、次のような電子メールやホームページに関するものが多くみられました。

- ・ホームページを掲載したいのですが、サーバへの転送方法について教えてほしい。
- ・小学校低学年の学習指導案はセンターのホームページの教育情報から取得できますか。
- ・電子メールのパスワードを忘れたのですが、どのような手続きをすればよいですか。

(背景の桜はカタオカザクラです)

各担当部への相談は、電話で申し込んでください。

- 【教科教育部】 0263-53-8803
- 【教職教育部】 0263-53-8804
- 【特殊教育部】 0263-53-8805
- 【生徒指導部】 0263-53-8833
- 【情報教育部】 0263-53-8806
- 【産業教育部】 0263-53-8807

担当部が不明の場合には
0263-53-8802
【企画開発部】へ

ご覧ください センターホームページ

<http://www.edu-ctr.pref.nagano.jp/>



各種
情報

最新の情報を掲載しています。

- 総合教育センターの紹介、事業の概要
- 総合教育センターの最新情報（トピックス）
- 研修講座一覧表、各分野の講座の特色紹介
- 研修で来所される方への案内
- 研究調査の成果
- 教育相談の案内 など



教育情報

教育情報の提供を積極的に推進しています。

- 教育事務所から推薦のあった学習指導案（ほぼ原文のまま取得できます）
- 特殊教育の指導事例や高等学校の教育課程の研究（ほぼ原文のまま取得できます）
- センターで作成した教育実践資料
- 図書資料情報やソフトウェア情報 など



お知らせ

◎受講者のうち、当センターから旅費を支給される方は、今年度から校長の旅費別途支給の命令を受けた旅行命令票の写しを講座実施日の5日前までに送付（FAX可）していただくようになりましたのでよろしくお願い致します。

◎受講者のうち、宿泊施設やマイクロバスの利用を希望される方は、所定の様式で講座実施日の10日前までにFAXで申し込んでください。

- ・宿泊施設利用を希望する場合は、「研修講座案内」の「宿泊施設利用申込書」（P.86様式第5号）をコピーして申し込んでください。
- ・JR塩尻駅～高速バス停（広丘野村）～総合教育センター間の送迎用マイクロバスの利用希望者は「マイクロバス利用申込書」（P.87様式第6号）をコピーして申し込んでください。

◎当センターでは、県が平成10年7月に策定した「環境保全のための長野県庁率先実行計画」への取組みの一環として、庁舎の空調の適温化（冷房は28度程度、暖房は19度程度）等による省エネルギーの徹底、ゴミ・資源物の分別処理による廃棄物の減量化とリサイクルの促進等、様々な環境対策に力を入れております。来所される皆様のご理解とご協力をお願いします。

センター施設開放

開かれたセンターづくりを目指して、今年も8月26日（土）にセンター施設開放を生涯学習推進センターと共催で実施します。



“塩尻の東山に見える赤茶色の建物はなんだろう”という疑問にお答えします。ご家族、友人などに一声掛けていただきお出掛けください。

今年も、開放講座や体験コーナー、食堂の利用などを通して一日を楽しんでいただく予定です。

所 報

第12号

平成12年5月22日

発行 長野県総合教育センター

〒399-0711

長野県塩尻市大字片丘字南唐沢6342-4

TEL 0263-53-8800（代表）

FAX 0263-51-1290

ホームページアドレス

<http://www.edu-ctr.pref.nagano.jp/>

メールアドレス

webmaster@edu-ctr.pref.nagano.jp

◆片丘の自然⑤◆

タンポポは語る

塩尻市片丘特産のカタオカザクラが、つぼみを膨らませ清楚な花を開く頃、足元に目を向けるとタンポポが競い合って咲いています。頭花の下にある総苞そうほうの部分に注目しながら歩いてみると、明治



（在来タンポポ）

（花茎の太いセイヨウタンポポ、
○内は、反り返った総苞片）



時代に日本に入ってきて定着した外来のタンポポがほとんどです。その中に、総苞片が反り返らない在来のタンポポを数か所で見つけることができました。

また、花茎が何本か合わさって太くなった珍しいセイヨウタンポポ（外来）が見つかりました。

植物の世界にくりひろげられる競争や、生長に及ぼす何らかの原因について、タンポポは、私たちに何を語っているのでしょうか。

（専門主事 橋渡勝也）



● 在来のタンポポ ○ 外来のタンポポ

総合教育センターのタンポポ地図 2000.4.24調査